

平成28年度今金町社会福祉協議会事業報告

(第5期今金町地域福祉実践計画実施状況)

■法人運営「組織の強化と連携の輪」

1. 人材育成 と体制整備	<p>(1) 事業企画・組織運営に係るマネジメントスキルの習得・向上</p> <p>○職場内における定期的な業務進捗状況の把握と進行指導・管理 ⇒・必要な都度、各部署との会議を開催し、課題や業務改善のための取り組みを行った。 (職員全体会議3回、事務局会議6回、ケアマネ会議5回、 デイサービス会議12回、あんサポ会議11回、ヘルパー会議2回)</p>
	<p>(2) 職員の専門スキルの習得・向上</p> <p>○社協職員としての心構えの刷り込み ⇒・職員会議(年3回)の中で、社協の経営方針を提示。 ○研修への積極的な参加によるスキルアップ ⇒各種研修会に積極的に参加し、専門性の向上に努めた。 ※研修内容については、別紙「月別事業報告」のとおり</p>
	<p>(3) リスクマネジメント体制の確立</p> <p>○危機管理意識の向上を図るための勉強会の開催 ⇒・感染症に対する危機管理意識の向上を目的に、「今金町感染対策連絡会議・研修会」(年3回)に職員が出席した。 ・「ふれあいファミリーサポート事業」を実施するにあたり、八雲総合病院の小児科医のご協力により、病気やケガなどの緊急時にでも適切な対応ができるよう、また、知識の取得により安心して事業が実施できるよう研修会を年3回開催した。</p>
	<p>(4) 法人運営の透明性の確保</p> <p>○サービスの自己評価に基づく公表 ⇒第5期地域福祉実践計画の実施状況について評議員会において公表した。(H29.3.24) ○事業内容や財務状況を広く周知できる仕組みの検討 ⇒インターネットSNSを活用し、法人の取り組みについて広く公表することができた。 ○監事監査の実施 ⇒社協監事により四半期ごとに監査を実施した。 第1四半期定例監査(H28.8.2) 第2四半期定例監査(H28.10.17) 第3四半期定例監査(H29.1.13) 第4四半期定例監査及び決算監査(H29.5.22)</p>
	<p>(5) 苦情処理体制の整備</p> <p>苦情対応マニュアル(H18年度作成)に基づき、体制整備済みであるが、苦情事例がないため、実施実績はない。</p>



(6) 生活支援コーディネーターの養成・配置

- 地域福祉を推進するコミュニティソーシャルワーカーの育成
⇒・今金町介護予防推進協議会（年2回）に出席し、町との協議を行ったほか、社協役職員による介護保険制度の学習会の開催をしながら検討を行った。

※平成28年4月から「生活支援コーディネーター」業務を受託。

- ・生活支援コーディネーター業務で必要となる「ニーズ把握」に関して、役員による「友愛訪問活動」や職員による「ニーズ調査」、「一人暮らし高齢者見守り訪問活動」の活動を行った。



2. 関係機関との情報共有・連携

(1) 地域包括支援センター

- ⇒・要支援者情報の共有化を図りながら、困難事例等への対応にあたった。
（問題が複雑化している世帯への支援、認知症に関わる世帯への支援等）
- ・介護保険制度の改正に伴い義務化された市町村独自の取り組みについて積極的に参画し協議を行った。
- ・介護保険サービスの利用に係るケアマネジャーへの円滑な引継ぎ
- ・生活支援コーディネーター業務の一環として、必要な協議を行った。
（生活支援体制整備事業）

(2) 民生委員児童委員協議会

- 定例会議への出席
⇒月1回開催される定例会議に職員が参加し、要支援者情報の提供や収集を行いながら、業務にあたった。
- 社協役員との交流研修会（地域福祉研修会）の開催
⇒テーマ「認知症徘徊模擬訓練の実施に向けて」（H28.10.18）
参加者11名
- 各事業等の相互協力
⇒・社協主催「ミニデイサービス」への地区担当民生委員さんの参加協力
（年4回実施）
・民協主催「ふれあい広場」への参加協力（H28.7.2）
（2名の職員が参加協力）



(3) 介護保険・障害福祉関連事業所

- ケアマネ交流会
⇒ケアマネジャーの質の向上を目的に年6回開催。
内容「困難事例対応」、「情報交換」、「制度の勉強会」
- 社会福祉法人（ひかりの里・豊寿園）
⇒各法人から評議員を選出している。また、法人の事業への参加協力などを通じて、連携交流が図られた。
- 相談支援事業所ひかり
⇒障がい者の社会参加の助長や自立支援を目的に、「身体障害者福祉協会」の事業を通じた関わりや、地域の障がい者支援に関して、助言をいただきながら対応を行った。

(4) 福祉の総合窓口としての体制確立へ向けた連携協力

- 保健福祉課との協働による福祉総合窓口の充実に向けた検討
⇒相談者がとしべつにきた際に、円滑に困りごと（用事）が解決できるよう、常に連携を図り、対応することができた。

3役職員の意識啓発を目的とした各種会議の活性化

(1) 理事会

○理事・監事の役割の明確化と機能強化

⇒理事会（会議）のあり方を再検討しながら、活発な意見交換が図られた。

理事会開催数 計 7 回

主な内容「事業計画及び収支予算」、「規程等の改正」、「事業報告及び収支決算」、「事業実施の検討」等

○外部研修会への積極的な参加

⇒道社協などが主催する研修会へ積極的に参加し、スキルアップに努めた。

※詳細は、別紙「月別事業報告」のとおり



(2) 評議員会

⇒本会の最高議決機関として、評議員会を年 3 回開催した。

第 1 回 平成 2 8 年 5 月 2 7 日 「事業報告及び収支決算」

第 2 回 平成 2 8 年 1 2 月 2 7 日 「定款の変更」

第 3 回 平成 2 9 年 3 月 2 4 日 「事業計画及び収支予算」



(3) 委員会

○会長・副会長会議 計 3 回開催 (H28. 7. 19、H28. 8. 24、H28. 11. 1)

○全員協議会 計 2 回開催 (H28. 11. 28、H29. 1. 20)

○運営委員会 計 1 回開催 (H29. 2. 22)

(4) 職員会議

⇒必要な都度、各部署との会議を開催し、課題や業務改善のための取り組みを行った。

(職員全体会議 3 回、事務局会議 6 回、ケアマネ会議 5 回、デイサービス会議 1 2 回、あんサポ会議 1 1 回、ヘルパー会議 2 回)

4. 福祉の普及啓発

(1) 社協だよりの発行

⇒福祉の普及啓発を目的に、月 1 回社協だよりを発行。

社協で実施する事業の紹介などの P R を積極的に行った。

発行回数… 1 2 回

発行部数… 5, 6 4 0 部



(2) 町内行事への積極的な参加による福祉啓発

○今金町総合文化祭への参加

⇒ 1 0 月 2 9 日～ 1 0 月 3 1 日開催の第 4 7 回今金町総合文化祭の展示部門に参加し P R 活動を行った。



○今金町商工会「いいとこ祭り」への参加

⇒ 8 月 1 4 日に開催された今金町商工会の「いいとこ祭り」に参加し、職員による今金町の赤い羽根オリジナルピンバッジ「だんしゃくん」の募金活動に併せて、福祉の普及啓発活動を行った。



■地域福祉活動推進「支え合いの仕組み」

1. 住民主体 の相互支え合 い体制づくり

(1) 福祉教育の推進

- 今金小学校 福祉の学習指導 (H29. 2. 7)
⇒地域包括支援センター職員と一緒に社協職員も 4 名参加
- 檜山北高等学校 介護実習体験指導 (H28. 11. 16)
⇒職員 4 名参加
- 福祉の出前講座
⇒レクリエーション指導 (5 回)



(2) ふれあいいきいきサロン

- 運営支援
⇒平成 27 年度に立ち上げられた「八束初田」・「曙町」に対し、活動運営費の助成を行った。
 - 集いの場の開催
⇒高齢者等が集中している地区を対象に、出張ミニデイサービスを開催し、閉じこもり予防のための取り組みを推進した。
- ＜実施地区＞
- ・美利河 (H28. 6. 18)
 - ・日進 (H28. 10. 15)
 - ・花石 (H28. 11. 19)
 - ・緑町 (H29. 2. 18)



(3) 支え合い活動の推進

- 福祉用具・育児用品・子ども服リサイクル
⇒・福祉用具、育児用品リサイクル事業では、ご家庭で不要になった介護用福祉用具や子供用育児用品を必要な家庭へ橋渡しすることにより、互いに支え合える地域づくりの一助とすることを目的に実施した。

＜受け渡しが成立した主な物品＞

ジュニアシート、歩行器、抱っこひも、チャイルドシート、ポータブルトイレ、ベビーラック、ベビーゲート

＜現在必要としている物品＞

チャイルドシート、ポータブルトイレ、歩行器

- ・子ども服リサイクル事業では、ご家庭で不要になった子ども服（主に就学前まで）などを、保健師さんが実施する健診や事業等の際にコーナーを設置し、必要な人へとつなぐことにより、子育て世帯の経済的負担軽減と互いに支え合える地域づくりの一助とすることを目的に実施した。



(4) ふれあい・つながりづくり

○ふれあいパークゴルフ大会

⇒高齢者並びに障がい者相互のふれあいと健康の増進を図ることを目的に、第12回社協杯ふれあいパークゴルフ大会を開催した。(H28.8.19)
大会参加者…48名



○ふれあいはがき郵送事業

⇒一人暮らし高齢者の孤立感・不安感の解消を目的に、学童保育所に通う児童の皆さんにご協力をいただき、メッセージを添えたハガキを郵送した。高齢者から大変喜んでいただいた。(7月と1月に実施)
郵送件数…349件



○ふれあい交流会（老人クラブ連合会との共催）

⇒世代間の交流を目的に、レクリエーションを通じて高齢者と学童保育所の交流を行った。(H29.1.18開催)
参加者…高齢者39名、学童保育所児童35名



(5) 機器・備品等貸出事業

○レクリエーション貸出事業

⇒町内会・自治会や各団体の交流手段として、社協で保有するレクリエーション用具の貸出を行った。

貸出件数…18件

主な貸出先…町内会・自治会へ3件、各団体へ4件、
老人クラブへ11件

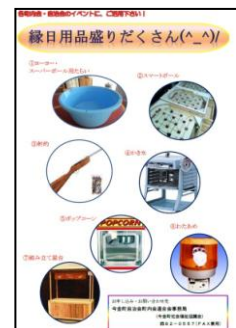


○縁日用品貸出（自治会町内会連合会との共催）

⇒町内会・自治会や各団体が実施するイベントに対し、縁日グッズを貸出活用していただくことにより、各団体の活性化を図ることを目的に貸出を行った。

貸出件数…17件

主な貸出先…町内会・自治会へ9件、各団体へ8件



(6) 赤い羽根共同募金運動の推進

○赤い羽根共同募金（１０月１日～１２月３１日）

⇒１０月１日から１２月３１日までの期間、町民の皆様のご協力により、募金活動を行った。

- ・全戸募金（町内全戸対象 ２，２４１世帯） １，１３０，４７０円
- ・企業募金（町内企業対象 ９８件） ３６０，０００円
- ・職域募金（役場、としべつ、国保病院等） １６，８１７円
- ・街頭募金（今金町総合文化祭会場にて社協役員が募金を募った） ２２，３９２円
- ・その他（ふれあいフリマ・寄付金付きグッズ・**だんしゃくんピンバッジ**） ２２１，８７１円



平成２８年度目標額…１，７００，０００円に対し、

収納合計額…**１，７５１，５５０円**

目標達成率…**１０３％**

○歳末たすけあい募金（１２月１日～１２月３１日）

⇒１２月１日から１２月３１日までの期間、町民の皆様のご協力により、募金運動を行った。

- ・全戸募金（町内全戸対象 ２，２４１世帯） ４６３，２７０円
- ・その他（過年度収入） １，０００円
- ・配分実績

義援金	８件	１２０，０００円
事業費	３件	１６８，２５５円

収納額 ４６４，２７０円

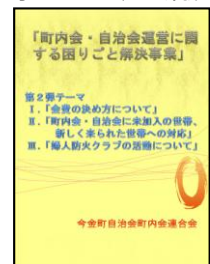
(7) 自治会町内会連合会（事務局）

⇒町内会・連合自治会・自治会で組織する自治会町内会連合会の事務局として、会議の開催や研修会の企画、会計事務管理など、団体の運営支援を行った。

＜社協ならではの新規事業＞

「町内会・自治会運営に関する困りごと解決事業」

テーマ～会費・加入者への対応・婦人防火クラブ



＜主な行事＞

- ４月…第１回正副会長・部長会議
- ５月…全道町内会活動研究大会
- ６月…育成交付金振込、第１回正副会長・部長会議
- ７月…第２回正副会長・部長会議、青空集会
- ９月…保健福祉部会
- １０月…リサイクル資源回収事業、道南ブロック町内会活動研究大会
- １１月…町づくり調整会議、会長手当振込
防災を考えるつどい兼合同避難訓練
- １２月…第３回正副会長・部長会議、フラワー部会
- ２月…監事監査、役員会、町内会事務担当者会議、総会
- ３月…第４回正副会長・部長会議、生活安全部会



(8) 老人クラブ活動支援（事務局）

⇒町内11地区の老人クラブで構成する老人クラブ連合会の事務局として、行事の開催や各地区の相談などの支援を行った。

<主な行事>

- 4月…役員会、総会
- 6月…会長会議、各部会
- 7月…今金老連パークゴルフ大会、
檜山管内会員パークゴルフ大会
- 9月…高齢者いきいき運動会
- 11月…檜山管内老人クラブ会員研修会、
高齢者交通安全マナー・防犯講習会
檜山管内小ブロック研修会
- 12月…女性部クリスマスカードづくり
- 1月…ふれあい交流会
- 2月…会長会議、各部会、
シャッフルボード大会
- 3月…ふれあい交流学習会



2. ボランティアの推進・普及と充実

(1) 情報の収集・提供・相談等のコーディネート

⇒ボランティアをしたい人・してもらいたい人をつなぐことを基本とし、さまざまな活動依頼に対し、橋渡しを行った。

年間延べ活動者数 146名

<個人登録者の主な活動>

- | | |
|---------------------|-----|
| ・福祉施設利用者との話し相手 | 6名 |
| ・福祉施設行事手伝い | 54名 |
| ・福祉施設利用者との編み物指導 | 12名 |
| ・すくすく親子広場（子守） | 16名 |
| ・ブックスタートバック作成 | 2名 |
| ・ブックン貸し出し | 15名 |
| ・フリーマーケット出店 | 23名 |
| ・縫い物（乳児お着替え巾着袋・雑巾等） | 4名 |
| ・ブックスタート読み聞かせ | 14名 |



(2) 新たなボランティア発掘

⇒毎月発行する「社協だより」にボランティア関連の情報提供を行い、新規登録者の発掘に取り組んだ。

(3) 一人でもできるボランティアの推進

○リングプル回収事業

⇒今金町内の様々な機関にご協力をいただき、リングプルを集めて、車いすに交換する取り組みを行った。

これまでの車いす交換台数…7台

1台当たりの必要数量 …700kg

保有累計 …400kg

目標まで …300kg



○ペットボトルキャップ回収事業

⇒再資源化を促進することにより二酸化炭素の発生抑制に寄与できると同時にキャップの売却益で発展途上国の子供達にワクチンなどを届ける活動の他、障がい者の自立を支援する活動に充てられる。

平成28年度中に町内で集められたキャップ量 598kg

257,076個

(4) 活動者へのサポート

○ボランティア活動保険加入促進

⇒安心してボランティア活動が行えるよう保険加入促進を行った。

＜ボランティア活動保険加入者＞

・個人ボランティア…60名

・団体による加入者…9名

3. 子育て支援

(1) 仕事と子育て両立支援

○病後児の預かりを含めたファミリーサポート事業の推進

⇒小児科医の全面的なご協力により、安心して利用できる体制づくり・仕組みづくりに取り組んだ。

・提供会員（援助を行いたい）登録者数…6名

・依頼会員（援助を受けたい）登録者数…14名

・実際に依頼があり活動した回数 …24回

・研修会の開催回数 …4回

第1回「子どもを預かるにあたっての基礎知識」

講師：八雲総合病院 小児科診療部長 吉田 雅喜 氏

講師：檜山広域行政組合今金消防署 職員

第2回「インフルエンザとウイルス性胃腸炎」

講師：八雲総合病院 小児科診療部長 吉田 雅喜 氏

第3回「感染症対策について」

講師：八雲総合病院 小児科診療部長 吉田 雅喜 氏

講師：今金町保健福祉課 保健師 若山 雄太 氏

第4回「アレルギーについて」

講師：八雲総合病院 小児科診療部長 吉田 雅喜 氏



(2) 子育て世帯の経済的負担の軽減へ向けた支援

○育児用品リサイクル ※再掲のため省略

○子ども服リサイクル ※再掲のため省略

○ふれあいフリーマーケットの開催


⇒子ども服を始めとする不要になったものを必要としている人へつなげるにより、互いに支え合う意識づくりと、たくさんの人達の自然なふれあいの場として開催した。


＜開催日＞…H28.5.21、H28.11.23 計2回開催

＜来場者数＞…およそ180名

＜出店されたもの＞…子ども服、おもちゃ、日用品、手芸品 等



	<p>(3) ひとり親家庭を暖かく見守り支援する活動</p> <p>○社協サンタ</p> <p>⇒ひとり親家庭で小学6年生までのお子さまを持つ世帯を対象として社協のサンタがクリスマスプレゼントを贈呈し、保護者の方へ日頃の苦勞に対し敬意を表することを目的として実施した。</p> <p>＜実施日＞ H28. 12. 23</p> <p>＜参加申込者＞ 4世帯 4名</p> 
--	---

4. 防災・減災活動の推進	<p>(1) 災害時要援護者支援の体制整備</p> <p>○日常の見守り（小地域福祉活動）の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし高齢者見守り活動（職員により通年実施） <p>⇒概ね75歳以上の一人暮らし高齢者の自宅へ社協職員が安否確認を兼ねて訪問し、地域包括支援センターへ情報提供や必要なサービスへの橋渡しを、民生児童委員との連携のもとに実施し、見守り体制の強化を図った。</p> <p>訪問人員…50名 訪問実績…63回</p> ・友愛訪問事業（役員によりH29.2～3の1ヶ月間実施） <p>⇒80歳以上で一人暮らし高齢者宅を地区担当役員が訪問し、安否の確認及び日常生活の状況や困りごとなどについて会話を交えることにより、本人の孤立感の解消と、この実態把握を通じて、民生児童委員などの関係機関との情報共有化を図り、一人暮らし高齢者の見守りネットワークの構築に寄与することを目的に実施した。</p> <p>対象人員…143名</p>
	<p>(2) 自主防災組織の体制の確立</p> <p>○地区の状況に応じた避難方法の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今金町が実施した「防災を考えるつどい」に関係機関として職員が参加 <p>⇒今年度は総合体育館を避難場所として指定されている地区（高美町・末広町・南町）の避難訓練に関係機関として参加し、実際の避難方法の検討などを行った。</p> 
	<p>(3) 災害時の支援体制の確立</p> <p>※社協の取り組みとしては実施できなかった。</p>

■在宅福祉サービス「生活を支える」

1. 介護予防	<p>(1) 高齢者の生きがい・役割づくり</p> <p>○老人クラブ支援事業</p> <p>⇒老人クラブ連合会事務局を通じて、事業を活発に取り組み、生きがいづくり・役割づくりの実践活動を行った。</p> <p>※再掲のため省略</p>
	<p>(2) リハビリ・栄養・口腔ケア等専門職との連携</p> <p>○介護予防の視点を取り入れた事業の実施</p> <p>⇒保健福祉課との連携の基、作業療法士、栄養士、言語聴覚士、歯科衛生士などの専門</p>

職とのつながりを持つことが可能となり、社協本体や各団体等の事業に積極的に参加をいただき、講師を担っていただいた。

- ・老人クラブ連合会の研修会
H29.3.2「ふれあい交流学習会」
(栄養士、言語聴覚士、歯科衛生士)



- ・身体障害者福祉協会の研修会
H29.1.24「料理を楽しむ交流会」(栄養士)



2. 生活支援 総合事業

(1) 外出支援サービス事業

○普通車両では移動が困難な方の外出・社会参加機会の確保

⇒普通車両では移動が困難な高齢者や障がい者の移動手段の確保のため、リフト付き特殊車両で病院受診や外出の際に送迎サービスを行った。

<主な利用例>

- ・福祉施設からの外出や外泊の際
- ・病院から退院し、自宅へ戻る際
- ・町内行事に参加する際
- ・近隣町医療機関等への受診

<月平均利用者数 2名>

- ・年間延利用者数 19名
- ・年間延利用回数 48回



(2) 備品等貸出事業

○車両

⇒リフト付き車両(特殊車両)の貸出を行っているが、今年度実績は0

○車いす

⇒突然の病気やケガなどにより車いすが必要になった場合や、ご家族と外出する際、安心して移動する際の貸出を行った。

<主な貸出例>

- ・選挙会場への貸出
- ・家族と外出するため
- ・老健の行事の際

<車いす保有台数>… 10台

- ・年間延利用者数… 21名
- ・年間延貸出日数… 105日



(3) 制度対象外独自支援事業

○介護保険外ホームヘルプサービス「いきいきヘルプ おたすけたい」

⇒介護保険の要介護認定により非該当若しくは、突然の事情により手助け必要な方を対象に、自宅にヘルパーが訪問し、掃除や調理・買い物などを提供した。

- ・月平均訪問回数 … 4回
- ・年間実利用者数 … 12名
- ・年間訪問回数 … 52回

(4) 行政福祉サービスとのサービス形態連携

- 配食サービス
- あんしん電話サービス
- 除雪サービス

⇒いずれのサービスもご本人の申請に基づき受けられるサービスであるが、必要な人が必要なサービスを受けられることを心がけ、社協役職員と民生児童委員らと連携して利用促進を行った。

3. 高齢者介護支援

(1) 訪問介護事業

営業日数 250日 日平均利用者 5名 従事者 4名

○訪問介護、介護予防・日常生活支援総合事業（第一号）訪問事業

⇒介護保険制度の要介護認定で要支援1から要介護5と判定された方に提供される訪問介護や総合事業によるチェックリスト該当者に提供される訪問介護

＜月平均実利用者＞… 23名
・年間実延利用者数 279名
・年間延利用回数 1,120回
・介護保険費用 3,524,900円
・介護度別＝総合事業チェックリスト：4名
総合事業支援1：5名
総合事業支援2：4名
要介護1：7名、要介護2：1名
要介護3：2名、要介護4：2名
要介護5：1名（3月末現在）計26名



(2) 通所介護事業

営業日数 257日 日平均利用者 11名

従事者 5名（正職 1名 臨時 2名 パート 2名）

○地域密着型通所介護、介護予防・日常生活支援総合事業（第一号）通所事業

⇒介護保険制度の要介護認定で要支援1から要介護5と判定された方に提供される通所介護や総合事業によるチェックリスト該当者に提供される通所介護

＜月平均実利用者＞… 52名
・年間実延利用者数 243名
・年間延利用回数 2,912回
・介護保険費用 17,649,890円
・介護度別＝総合事業チェックリスト：2名
総合事業支援1：19名
総合事業支援2：6名
要介護1：15名、要介護2：5名
要介護3：2名、要介護4：0名
要介護5：1名（3月末現在）計50名



(3) 居宅介護支援事業

○居宅介護支援事業

⇒介護保険制度の要介護認定で介護度1から5と判定された方に対して適切な介護サービス等が提供されるよう支援を行った。

ケアマネジャー 2名(専任)

- ・月平均実利用者数 37名
- ・介護保険費用 4,964,150円
- ・介護度別＝要介護1:24名、要介護2:7名
要介護3:6名、要介護4:2名
要介護5:1名(3月末現在)40名



○居宅介護予防支援事業(町受託事業)

⇒介護保険制度の要介護認定で要支援1・要支援2と判定された方に対して適切な介護サービス等が提供されるよう今金町より受託し支援を行った。

ケアマネジャー 2名(専任)

- ・月平均実利用者数 12名
- ・受託金収入 646,700円
- ・介護度別＝要支援1:3名、要支援2:10名
(3月末現在)13名

○介護認定訪問調査事業(町受託事業)

⇒介護保険制度の要介護認定を受けた方で、有効期間満了等により認定の更新をする際に実施する訪問調査を今金町より受託し実施した。

- ・調査件数 53件 ・受託収入 185,500円

○ケアマネ交流会の開催

※再掲のため省略

4. 障がい者 生活支援

(1) 居宅介護・重度訪問介護事業

従事者4名(介護保険事業所ヘルパーが兼務)

○障害福祉サービス事業

⇒障害者自立支援制度に基づき提供されるホームヘルプサービス

<月平均実利用者数>…4名

- ・年間実延利用者数 45名
- ・年間延利用回数 232回
- ・費用合計 1,076,480円



(2) 地域支援事業の実施

○生活サポート事業

⇒実施実績無し

○移動支援事業

⇒障がい者及び障がい児が自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう屋外への移動が困難な方へ支援を行った。

<月平均実利用者>…1名 従事者2名

- ・年間延利用者数 12名
- ・年間延利用回数 23回
- ・費用合計 23,000円

(3) 身体障害者福祉協会運営支援（事務局）

⇒身体障害者の福祉の高揚を目的に、社会参加の促進や会員相互の親睦を目的に活動の運営支援を行った。

<主な事業>

- 4月…役員会、総会
- 5月…役員会、お花見交流会
- 6月…勉強会
- 7月…檜山管内身体障害者スポーツ大会
- 8月…レクリエーション交流会
- 10月…秋の視察研修
- 11月…軽スポーツ交流会
- 12月…交流会兼忘年会
- 1月…料理を楽しむ交流会
- 2月…お茶のみ会
- 3月…お茶のみ会



■あんしんサポート「安心の仕組み」

1. あんしんサポートセンター運営

(1) 心配ごと相談事業

⇒生活に不安を抱える方に対し、いざという時の対応が迅速にとれるように、定期的な訪問活動や電話での相談対応を行った。

- ・開設日数 243日
- ・要支援者への訪問活動 61回
- ・電話による相談対応 69回

(2) 成年後見支援事業（町受託事業）

⇒認知症、知的障がい、精神障がいなどにより、判断能力が十分でない方の権利を擁護するために重要な役割を果たす「成年後見制度」の利用促進を図ることを目的に、専門員1名を配置し、関係機関と連携を図りながら取り組んだ。

<主な取り組み>

・市民後見人養成講座修了生のフォローアップ研修会の開催

H28. 9. 8 第1回「相談支援事業所ひかりの役割」

講師：相談支援事業所ひかり 相談員 今西 菊美 氏

参加者：20名

H28. 11. 24 第2回「司法書士の仕事と成年後見業務について」

講師：森奈津美司法書士事務所 司法書士 森 奈津美 氏

参加者：18名

H29. 3. 16 第3回「事例を通して学ぶ成年後見制度」

講師：弁護士法人ゆめかなえ法律事務所

弁護士 小林 祐輔 氏

法テラス八雲法律事務所

弁護士 鳴本 翼 氏

参加者：15名



	<p>(3) 日常生活自立支援事業（道社協受託事業）</p> <p>⇒上記（2）に関連して、その前段となる制度（事業）として、主に福祉サービス利用援助、日常的金銭管理の支援を専門員が作成する個別支援計画に基づき、生活支援員が支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援員登録者数 4 名 ・現在の対象者数 2 名
	<p>(4) 生活応急資金貸付事業（本会独自事業）</p> <p>⇒今金町内に在住する低所得者世帯に対し、生活・災害・疾病・葬祭等の不時の出費を要するものに貸付を行うことにより、福祉の増進を図ることを目的に事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間貸付件数 … 2 件 ・前年度残高 40,000 円 ・貸付額 60,000 円 ・償還額 65,000 円 ・償還残高 35,000 円
	<p>(5) 生活福祉資金貸付事業（道社協受託事業）</p> <p>⇒低所得者、障がい者又は高齢者に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、安定した生活が送れるよう事業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間相談件数 … 27 件 ・年間貸付件数 … 2 件

2. 認知症支援	<p>(1) 認知症家族介護者の会「おたがいさま」活動支援</p> <p>⇒今年度は、「おたがいさま」への参加ができなかった。</p>
	<p>(2) 認知症サポーター養成協力・連携</p> <p>⇒社協役員と民生委員との研修会で「認知症徘徊模擬訓練」(H28.10.18)をテーマに開催し、関係機関として課題を共有することができた。※再掲のため省略</p>
	<p>(3) 認知症見守り支援事業協力</p> <p>⇒（2）に同じ</p>